

平成22年度 第1回 函館市南茅部地域審議会会議録

開催日時	平成22年8月6日 金曜日 午後2時00分～午後6時05分				
開催場所	函館市南茅部支所3階 多目的ホール				
内 容	<p>報告事項</p> <p>(1) 諸般の報告</p> <p>(2) 前回の意見等の集約結果と取組状況について</p> <p>議 題</p> <p>(1) 平成21年度事業の実績報告について</p> <p>函館市過疎地域自立促進市町村計画（素案）について</p> <p>地域振興全般に関する意見交換</p> <p>(1) 南茅部病院に関する意見交換について</p> <p>(2) 公立高等学校の配置計画案に対する取組状況について</p> <p>(3) 次回の意見交換テーマについて</p> <p>(4) その他</p>				
出席委員	秋本委員 小川委員 蛭谷委員	熊谷委員 遠山委員	濱田委員 佐々木委員	竹内委員 鎌田(茂)委員	加藤委員 工藤委員 (計11名)
	・報道関係	北海道新聞社	函館新聞社		(計2社)
	・傍聴者				(計1名)
欠席委員	竹原委員	木原委員	坂本委員	高谷委員	(計4名)
事務局の出席者の職氏名	南茅部支所長 南茅部支所地域振興課長 同市民福祉課長 同産業建設課長 同地域振興課主査 同地域振興課主任 南茅部教育事務所長 市立函館南茅部病院事務長	佐藤洋一 長谷川大春 小枝精一 河合満夫 西谷光一 加我明夫 田名部洋 加我賢也	副 市 長 企 画 部 長 同地域振興課主事 病院局管理部次長 病院局管理部経理課長 教育委員会生涯学習部次長 教育委員会生涯学習部次長 同生涯学習部参事 同学校教育部保健給食課長 同生涯学習部文化財課主査	小柏忠久 渡辺宏身 小玉 亮 渡辺史郎 相馬直仁 小林良一 岡崎圭子 阿部千春 中村文信 猪木孝幸 (計18名)	

1 開会（午後2時00分）

事務局
(長谷川課長)

ただ今より、平成22年度第1回函館市南茅部地域審議会を開会します。

2 会長あいさつ

秋本会長

<挨拶要点>

皆様には何かとお忙しいところ、ご出席いただき、ご苦労様です。

本日の審議会は、前回3月開催の審議会での意見等の集約結果と取組状況の報告および平成21年度事業実績の検証と函館市過疎地域自立促進計画の素案について、ご意見をいただく予定です。

また、地域振興に関する意見交換では、病院局より資料説明してもらった後、今回の意見交換のテーマである、南茅部病院に関する意見交換について、皆様のご意見をいただくことも予定しております。

委員各位の忌憚のないご意見・ご提言を期待して、開会のご挨拶といたします。

3 支所長あいさつ

佐藤支所長

<挨拶要点>

本日は、何かとご多用の中、ご出席いただき、有り難うございます。

また日頃より市政の円滑な運営や南茅部地域の振興にご支援・ご協力を賜わり、感謝を申し上げます。

特に、現函館駅から新幹線新駅間のJR運行継続に関する署名活動では、南茅部全体で約3千人もの署名が集まったと伺っております。

コンブ漁で忙しい時期にもかかわらず、各町内会が精力的にご協力いただいた結果であり、この場を借りて厚くお礼を申し上げます。

早いもので、私が支所長として赴任してから既に5ヶ月目に入りました。

この間、木直小学校と磨光小学校の統合の動きがあったり、国道バイパスでは念願の新豊崎トンネルが着工し、完成は23年度末までかかると聞いておりますが、特に安浦から豊崎間のバイパス区間が一日も早く供用されるよう、市土木部はもとより、尾札部道路整備促進協議会とも歩調を合わせながら、函館開発建設部の方にも要望して参りたいと考えております。

一方、地域内の火災や主な出来事といたしましては、住宅火災が1件、山菜採りによる遭難騒ぎが立岩と万畳敷で発生、さらに大舟漁港内での油の流出騒ぎがありましたが、消防署や消防団、漁業協同組合、そして地域の関係者のお力添えをいただきながら、何とか現地対応に努めてきたところであり

7月中旬以降、全国的に蒸し暑い日が続いており、南茅部地域も例年と比べ気温が高めに推移しております。

昨日は函館地方30.4度と3年ぶりの真夏日になり、本日は午前9時現在、白尻地区で31.7度を記録しました。

今のところ天候は穏やかで大雨や大シケもなく、何よりと安堵しております

	<p>すが、これから秋にかけて台風や低気圧が襲来する確率が一層高まりますことから、支所職員も気を引き締めて、気象警報の周知や災害初動時の現地対応について、万全を期して参りたいと考えております。</p>
<p>4 出席委員の報告</p>	
<p>事務局 (長谷川課長)</p>	<p>出席者10人、欠席者5人、地域審議会の設置に関する規程第8条の規定により、会議の成立をご報告いたします。 (途中から小川委員出席)</p>
<p>5 報告事項 (1) 諸般の報告</p>	
<p>秋本会長</p>	<p>日程5の報告事項について、佐藤支所長から報告ののち、質疑を受けたいと思います。</p>
<p>佐藤支所長</p>	<p>去る6月開催の第2回市議会定例会で南茅部に関する案件の質疑がありましたので、私の方から口頭で2点ほどご報告いたします。 1点目は、気象警報・注意報の発表の変更についてです。 気象庁では、本年5月27日から気象警報・注意報の発表区域を市町村単位に細分化して発表することとしました。 この件に関わって、旧函館市と東部4地域では、風向きによって降雨量や波など気象条件が違うので、函館市何々地区など市エリアの実態に即した細分化を気象庁に要望すべきでないかという質問がございました。 質問に対して、気象庁では本年5月から全国一斉に運用を開始したものであり、一つの自治体が更なる細分化を求めても中々難しい面もありますが、地元の函館海洋気象台には、旧函館市と東部4地域の気象条件が違うことを、よくお話をしていくという答弁がありました。 この件に関しては、委員の皆様も既に広報紙やテレビでご存知かと思いますが、現在のテレビ報道では、まだ函館エリアも渡島東部地方に含めて警報・注意報が発表されている状況にあります。 今後は、各テレビ局のシステム切り替えが進んでくれば、南茅部地域は函館市に含まれて、警報・注意報が発表されてくるものと思います。 南茅部支所としましては、気象庁の発令をもとに気象協会やNTTなどからも詳細情報を収集するとともに、今までと同様に防災行政無線でリアルタイムな気象情報を周知して参ります。 2点目は、縄文文化交流センターの管理運営体制についてで、来年10月オープンを予定している縄文文化交流センターの管理運営がどうなるのかという質問がありました。 市教育委員会から、この施設は国宝となった「中空土偶」などの貴重な遺物の展示や縄文文化の調査研究・各種体験講座による教育普及事業を展開するため、博物館法に則った登録博物館として整備するとともに、施設完成後は国土交通省に道の駅の申請をし、北海道初の国宝が見られる「道の駅」として観光振興や地域の活性化に大きく貢献する施設になるものと期待されることから、国宝を管理する責任を踏まえ、その運営については「業務委託を</p>

	<p>活用した直営方式」も含めて速やかに検討していくという答弁がありました。</p> <p>本件に関しましては、この後、議題の事業実績報告でも縄文文化交流センターの整備がございますので、その中で質問があれば受けたいと思いますが、私の方で把握している情報をお知らせします。</p> <p>現在、教育委員会では施設の管理運営方法を庁内的に詰めておりますが、具体の管理体制については、まだはっきり方針が定まっていない状況にあると伺っております。</p> <p>施設オープンまで1年余りとなっており、今後、その方針が決まった段階で地域にも速やかに示して頂けるよう、要請して参りたいと考えております。</p> <p>続きまして、支所長の行政報告を兼ねて、支所として取り組んでいることについて、触れておきたいと思います。</p> <p>お手元の資料をご覧ください。</p> <p>(南茅部の施策体系について、配付資料のとおり説明)</p> <p>この目標実現に向けましては、当然のことながら行政だけでは限界がありますことから、住民一人一人のお力をいただく場合や、時には各団体や地域全体で協同して取り組むことも必要になって参ります。</p> <p>南茅部支所といたしましては、特性が活かされ、少しでも南茅部らしさが見える支所運営を心がけながら、地域ぐるみの協働のまちづくりの架け橋となって、これからも努力して参りますので、ご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。</p> <p>(地域福祉バスを活用した通院バスについて、配付資料のとおり説明)</p> <p>現在、利用者や家族の方々からは10月以降も継続運行されるよう、南茅部病院を通じて要望が多数寄せられております。</p> <p>支所としては、利用者の声や今後の高齢化の進行、さらには地域医療の核となる南茅部病院の利用促進等を勘案し、本年10月以降も継続運行して参りたいと考えております。</p> <p>この件で特にご異論が無ければ、9月上旬までには病院窓口を通じて利用者に周知できるようにしていきたいと考えております。</p>
秋本会長	<p>報告が終わりましたので、質疑に入ります。</p> <p>質疑ありませんか？</p>
遠山委員	<p>これまで、合併後における地域振興のビジョンが見えてこなかったが、今回、このように施策体系図を示していただいたことにより、地域の課題や解決に向けて取り組んでいこうとする意欲が十分伝わってくる。</p> <p>今後、地域住民へどのように周知していくのか？</p>
佐藤支所長	<p>今回、初めて地域審議会にお示ししましたが、今後、町内会をはじめとした関係団体の会合等、色々な機会を捉えながら、1人でも多くの方に南茅部地域の主体性が発揮されるような支所運営について、ご理解いただけるよう周知して参りたいと考えております。</p>
遠山委員	<p>地域住民とのコンタクトを図る意味でも、大いに活用していただきたい。</p>
秋本会長	<p>他にありませんか？</p>

熊谷副会長	病院の無料通院バスについては、利用者の声を尊重して、10月以降も継続運行してほしい。
佐藤支所長	そのように対応したいと考えております。
秋本会長	他にありませんか？
佐々木委員	施策体系図で示されている方針は、きちんと本庁にも伝わっているのか？
佐藤支所長	各部局毎に部局運営方針を策定しており、その際にこの施策体系図を用いて、市長に説明し理解を得ているものであります。
秋本会長	他にありませんか？ (特になし)
秋本会長	特に無いようですので、質疑を終了します。

(2) 前回の意見等の集約結果と取組状況について

秋本会長	報告事項(2)前回の意見等の集約結果と取組状況について、事務局から説明願います。
事務局 (長谷川課長)	(資料1のとおり説明)
秋本会長	説明が終わりましたので、質疑に入ります。 質疑ありませんか？
蛭谷委員	函館市学校給食運営協議会運営委員会については、東部4地域から日新中、潮光中のPTA会長、榎法華中の校長が委員に選出されているが、4地域から1名ずつ選出すれば地域の意見がより伝わるのではないか？
保健給食課 (中村課長)	各組織から推薦を受けて委員を選出しているものであり、こちらから指定できません。 なお、委員の任期は1年で、来年度の委員の選出にあたりましては、今回のご意見を各組織にお伝えしたいと思います。
秋本会長	他にありませんか？ (特になし)
秋本会長	特に無いようですので、質疑を終了します。

6 議 題

(1) 平成21年度事業の実績報告について

秋本会長	日程6の議題に入ります。 (1) 平成21年度事業の実績報告について、事務局から説明願います。
事務局 (長谷川課長)	(資料2のとおり説明)
秋本会長	説明が終わりましたので、質疑に入ります。 質疑ありませんか？
加藤委員	総括表では南茅部地域分として、3億7,298万円と記載されているが、このほかに全地域にわたる事業のうち、南茅部地域に関わる分もあると思う。どのくらいの事業費なのか？
事務局 (長谷川課長)	前回、加藤委員から全地域にわたる事業のうち、南茅部地域に関わる主な事業について示してほしいと要望があり、事務局としても分かり得る範囲で資料に記載させていただきましたが、中には算出できないものもあり、明確にお示しできませんので、ご理解願います。
加藤委員	合併前は投資的建設事業費が約10億円程度だったと思うが、合併後、総体で南茅部地域にどのくらい投資されているのかを知りたかったが、そういう理由であればやむを得ない。
佐藤支所長	地域人口が年々減少している中で、旧南茅部町が単独運営していた場合、地方交付税や税収も減少し、人件費等をどれだけ節減したとしても、当時のような投資的経費は確保できなかったものと思われます。 21年度は3億7千万円でしたが、今年度は縄文文化交流センターの整備等もありますことから、さらに上回ることが見込まれており、今後も優先度や地域のニーズを把握しながら、執行して参りたいと考えております。
秋本会長	他にありませんか？
遠山委員	大船遺跡史跡整備事業の関連で、縄文の森整備事業として南かやべ森と海の会が植樹活動を行っているが、さきの新聞報道によれば、鹿の食害があったという記事が掲載されていた。 どのくらいの被害があったのか教えてほしい。
産業建設課 (河合課長)	本事業は今年で3年目になり、年間20万円程度の事業費となっております。 そのうち平成19年度に植栽した樹木の芽を鹿や馬が食べたようですが、枯れてしまった訳ではなく生育しておりますので、結果的に被害はありませんでした。
遠山委員	抜本的な対策は講じたのか？

産業建設課 (河合課長)	馬については農林水産部を通じて、馬主に指導をお願いしています。 また鹿については駆除も難しいことから、教育委員会と管理方法を協議したいと考えております。
遠山委員	柵を設置する等の対策は考えていないのか？
生涯学習部 (阿部参事)	大船遺跡の面積は約7万2千平方メートルで、中には道路や民家もあり、その範囲に柵を設けるのは難しいことから、植栽した樹木が早く生育するよう雑草駆除等の対策を講じていきたいと考えております。
秋本会長	他にありませんか？ (特になし)
秋本会長	特に無いようですので、質疑を終了します。 ここで5分間、休憩とします。 (午後3時20分休憩、午後3時30分再開)
7 函館市過疎地域自立促進市町村計画（素案）について	
秋本会長	日程7 函館市過疎地域自立促進市町村計画（素案）について、企画部と事務局からそれぞれ説明を受け、皆様よりご意見をいただきたいと思います。
企画部 (渡辺部長)	(資料3のとおり概要を説明)
事務局 (長谷川課長)	(計画素案により説明)
秋本会長	ここで小柏副市長が出席しましたので、ご挨拶をいただきます。
小柏副市長	遅れて出席しました事にお詫び申し上げます。 本日の地域審議会では、合併建設計画事業実績のほか、戸井高校の関係、それから今、説明がありました過疎計画についても、ご意見をいただくこととなっております。 特に過疎計画につきましては、これまでハード事業が中心の計画でしたが、今回、新たにソフト事業も対象となったという事で、企画部が調整を図りながら、各部局の事業を取りまとめたところであります。 本来であれば、本計画についてパブリックコメントを実施すべきところですが、スケジュール的に難しいものですから、本日の地域審議会でのご意見やご要望をパブリックコメントに代えさせていただき、9月の市議会定例会に議案提出したいと考えておりますので、よろしくお願いたします。
秋本会長	ご存知ない方もいると思うので、過疎計画のメリットについて説明してほしい。

<p>企画部 (渡辺部長)</p>	<p>また従来までの過疎債は充当率が100パーセントで、元利償還金の70パーセントが地方交付税措置されていたが、その辺は変わらないのか？ それから、合併特例債との調整はどのようになるのか？</p> <p>合併建設計画に登載されている事業や前回の過疎計画で未実施の事業については、今回の計画にも重点的な事業として位置付けられております。 過疎債については前回と変わりありません。</p>
<p>佐藤支所長</p>	<p>合併特例債と過疎債の使い分けにつきましては、あくまで合併特例法に基づいた起債ですので、合併地域の速やかな一体性の向上や地域振興全般に関わる広域連携や統合再編などの事業が対象となります。</p> <p>過疎債につきましては重複する部分もありますが、特に地域に限定する事業、例えば道路や水道施設といった特定の区域で実施される事業については、過疎計画に登載されていれば過疎債を活用できます。</p> <p>それから過疎債は間接補助も対象となり、漁協が主体となる事業で市が補助する場合も過疎債の適用となります。</p>
<p>秋本会長</p>	<p>他にありませんか？</p>
<p>遠山委員</p>	<p>地域間交流事業として、旧姉妹町・旧友好村との交流事業が登載されているが、これは旧町村時代に行っていた姉妹町村との交流事業ということによるしいか？</p>
<p>事務局 (長谷川課長)</p>	<p>南茅部地域については、合併時に旧姉妹町村との交流事業を中止しており、今回登載されている事業は他地域で継続している交流事業です。</p>
<p>遠山委員</p>	<p>市としても青函交流を行っているのだから、その事業の一環として旧姉妹町村との交流事業を復活してもいいのではないかと思う。</p> <p>それから、生活交通路線維持事業については、前回も申し上げたとおり、現在、国が地域間交通のあり方を提案しようとしている中で、地域の高齢化を踏まえて、例えばバス停区間の距離を短縮するなど、高齢者が利用しやすいシステムにすべきではないかと提案したところである。</p> <p>ダイヤ改正などに要する経費の問題があるにしても、やはり現状にあった交通手段を確保するためには、そうした事を要請していくことも事業の中に組み入れるべきだと思う。</p> <p>また、来年4月には木直小学校が磨光小学校に統合し、戸井高校も募集停止の動きがある中で、恵山地区や榎法華地区から南茅部高校に通学することも想定されるが、現状のダイヤでは対応できない。</p> <p>そうした事も踏まえて、住民サービスの向上を図る意味でも、地域交通対策の取り組みは必要な事業だと思うが、どのように考えているのか？</p>
<p>事務局 (長谷川課長)</p>	<p>本計画に登載が予定されている事業は、生活交通路線バスに対する補助事業です。</p> <p>今後の地域交通体系のあり方については、4支所、本庁の関係部局も含めて現在、検討している段階です。</p>

	<p>その中で、高齢者に配慮した路線バスの運行やコミュニティバスの導入も含め、総体的な検討に入っていくこととしておりますので、ご理解いただきたいと思ひます。</p>
佐藤支所長	<p>現在、函館市が東部4地域の路線バスに対して補助しておりますので、その分を計画に登載しているものです。</p> <p>遠山委員のご意見については、前支所長も事業者である函館バスに要望しておりますが、採算に見合わないことから見送られております。</p> <p>ただ、高齢者に配慮した地域交通のあり方については、今後、状況を見極めながら対応したいと考えておりますので、今後の検討課題とさせていただきます。</p>
秋本会長	他にありませんか？
加藤委員	本計画の登載事業費はどのくらいか？
企画部 (渡辺部長)	<p>総体事業費は117億円、そのうちハード事業が約100億円、ソフト事業が約17億円となっています。</p> <p>ただ、本計画に登載されている事業全てに過疎債が充当される訳ではありません。</p>
加藤委員	<p>高齢者福祉施設の整備事業について、合併前から特別養護老人ホームの増床が要望されており、国の制度で増床が認められず、見送られてきた経過があるが、その辺の整合性は図られているのか？</p> <p>それから、高齢者の保健・福祉の対策として、健康づくり事業の推進とあるが、地域の方がボランティアで行っている健康づくり推進員活動等の事業はどのように計画に取り込まれているのか？</p> <p>また、学校施設の整備事業について、将来的に学校統合も想定される中で、どのような考え方で登載しているものか伺いたい。</p>
佐藤支所長	<p>特別養護老人ホームについては、合併前から待機者が20～30人おり、増床の計画もありましたが、合併後は函館市の介護保険事業計画に一本化されており、その中には南茅部地域の増床計画はございません。</p> <p>また、事業者であります社会福祉法人の経営等を含めた計画も合致しないと中々難しいものと思われませんが、国の制度も踏まえ、今後の待機者の動向を見極めて行きたいと思ひます。</p> <p>学校の整備については、施設自体が老朽化してきており、将来の統合等も視野に入れながら、必要最小限の手立ては講じていきたいと思ひます。</p>
秋本会長	他にありませんか？
熊谷副会長	電気通信施設および情報化の対策として、「インターネットのブロードバンド環境の整備促進」と記載されているが、事業計画にも登載してほしい。
佐藤支所長	地域の要望については十分承知しており、事業者に対し光回線の導入を働

	<p>きかけていきたいと考えております。</p>
熊谷副会長	<p>対策として記載されているのは、過疎債を活用できるからなのか？</p>
佐藤支所長	<p>先程、企画部長から説明ありましたとおり、過疎債を充当しない事業であっても、地域の過疎対策に必要な事項は記載しているものであります。</p>
企画部 (渡辺部長)	<p>いただいたご意見を参考にしながら、集約されたものをまた改めて、参考に事業費を記載してお示ししたいと思います。</p>
秋本会長	<p>他にありませんか？</p> <p>(特になし)</p>
秋本会長	<p>特に無いようですので、質疑を終了します。</p>
<p>8 地域振興全般に関する意見交換</p>	
秋本会長	<p>日程8の地域振興全般に関する意見交換を行います。 本日、南茅部病院に関する意見交換について、病院局から資料説明を受けた後、皆様よりご意見をいただきたいと思っております。</p>
<p>(1) 南茅部病院に関する意見交換について</p>	
秋本会長	<p>病院局より資料を説明願います。</p>
病院局 (相馬課長)	<p>(資料4のとおり説明)</p>
秋本会長	<p>説明が終わりましたので、意見交換に入ります。 どなたかご意見ありませんか？</p>
加藤委員	<p>函館市病院事業改革プランの中で、「南茅部病院の診療所化の是非も含めて検討する」と記載されているが、その辺の説明はないのか？</p>
病院局 (渡辺次長)	<p>前提としてお話しておきたいのは、改革プランで南茅部病院は、「南茅部地域における保健・医療・福祉の総合的な施策を実施する上での中核医療機関の役割を担うとともに、地域における唯一の病院として、入院医療、救急医療を提供してきましたが、今後についても概ねその役割を担っていくこととする」と位置付けております。</p> <p>改革プランは、国のガイドラインに基づき、収支の改善、経営の健全化を図っていくという計画で、その進捗度合いが非常に重要となってきます。</p> <p>21年度を初年度として27年度までの計画ですが、改革プランで示した経営の改善を進めていくことが義務付けられており、計画どおりに進まなければ、現行の診療体制を維持することが難しくなってくる状況も考えられます。</p>

	<p>仮に経営が改善できなかった場合、恵山病院と南茅部病院については、病院の規模を勘案し、「診療所化」、「老健施設など医療機関以外の事業形態への移行」を検討することとしており、平成22年度を目途に一定の結論を得るよう検討を続けると、改革プランに記載しております。</p> <p>先程説明したとおり、21年度の経営状況は20年度に比べて大幅に改善しておりますが、決算では3病院の合算で2億8千万円の赤字となっており、22年度以降も経営改善を図り、現行の医療体制を維持していきたいと考えております。</p>
加藤委員	<p>経営状況が改善されなければ、22年度中に診療所化などの結論を出すのか？ 経営改革評価委員会では、どのような意見が出されているのか？</p>
病院局 (渡辺次長)	<p>病院局では、函館市病院事業経営改革評価委員会を設置し、改革プランの取り組み状況に対する評価をいただいておりますが、22年度第1四半期の経営状況については3病院とも概ね計画を上回る収支状況となっております。</p> <p>また、22年度は診療報酬の改定もあり、南茅部病院のように15対1の看護体制の病院については、診療報酬が下げられてしまった一方で、外来の再診料は上がるという結果になりまして、半年ほど経過を見ないとその影響は分からないものですから、そうした事を踏まえて今後の改革プランの見通しについて評価をいただきたいと申し上げているところです。</p>
加藤委員	<p>住民の声が届かない所で、診療所化という言葉を目にする事に危惧している。赤字経営だとしても、地域医療が確保されるよう慎重に検討してほしい。また、住民の側にも地域に病院があるという事の重要性を軽視している感が否めない。</p>
秋本会長	<p>私も評価委員の一人だが、決して軽んじて評価している訳ではありません。他にありませんか？</p>
遠山委員	<p>南茅部病院の赤字は今に始まった事ではなく、合併前から当時の首長が一般会計から繰り入れてでも病院を存続してきた訳で、地域の思いでもある。病院を存続するために、昨年、療養病床を休止して1病棟化体制を受け入れたが、これ以上の譲歩は難しいと考える。</p> <p>果たして、入院患者や外来患者が1日平均何人になれば、損益分岐点に到達できるのか？</p>
病院局 (渡辺次長)	<p>同じ入院患者でも、長期と短期では診療報酬が変わってくるため、一概に何人になればと簡単に申し上げられませんが、なるべく密度の濃い医療を提供しながら、経営改善を図っていきたいと考えております。</p>
遠山委員	<p>今、休止している療養病床を一般病床化しても収支は改善できないのか？</p>
病院局 (渡辺次長)	<p>第一に医者数を増やすことが必要となります。 さらに15対1の看護体制を維持するために、看護師の数も増やさなければなりません。</p>

遠山委員	<p>ある地域では、地元の病院を維持したいという事で、地域住民が団結して地域医療を守る運動を展開している。</p> <p>こうした地域運動を盛り上げるためには、あと何人患者が増えれば収支改善できるといった目標があれば、地域としても取り組めるので、その目安を教えてください。</p> <p>せっかく、経営が改善されてきたのに、22年度に結論を出すというのは、性急すぎると思うので、先延ばしできないものか？</p>
病院局 (渡辺次長)	<p>22年度の第1四半期では、一般病床37床に対し31人の入院患者数となっておりますが、長期の入院患者から短期の入院患者へ移行しておりますので、昨年並みの医療収入は確保される見込みです。</p> <p>アバウトではありますが、1日平均で入院患者が37人、そして外来患者も昨年度並みの122人であれば、収支の均衡化は図られるものと思います。</p>
南茅部病院 (加我事務長)	<p>医療法では、上質な医療を提供するため、患者数によって医師の数が決められており、それよりも患者数が増えると医療報酬が減額され、収益が減る仕組みとなっています。</p> <p>ですから、現在の病院体制では、21年度の患者数が法定上の上限となり、仮に昨年度より患者数が大幅に増えても、収益は下がってしまいます。</p>
遠山委員	<p>そうだとすれば、南茅部病院は21年度で4,400万円の赤字となっているが、現段階ではそれがベストな経営状態だということか？</p>
病院局 (渡辺次長)	<p>21年度は長期の入院患者がおりましたので、さらに37床全て短期の入院患者で推移できれば、収支は均衡となるものと思います。</p> <p>それと、22年度に結論を出すという事については、南茅部病院だけではなく、これまで3つの病院合わせて約15億円の赤字が生じていた中で、改革プランを策定し、早急な対策が必要だろうという事で、時期を明示して結論を出したいとしているものであります。</p>
小柏副市長	<p>医療というのは本来、厚生労働省が責任を持って取り組むべきなのですが、2年に1回行われている診療報酬改定は、平成14年度以降、マイナス改定が続いてきました。</p> <p>その結果、公立病院も経営が悪化し、赤字も増えた訳です。</p> <p>そこで、地方自治体が公立病院の赤字を補填するとなると、今度は厚生労働省ではなく、総務省の所管となり、改革プランを策定して改善するよう求められているということでもあります。</p> <p>そうした中で、今回の診療報酬改定は、どちらかというところ、地方の大きな公立病院にはプラスに働く要素がありますが、小さな公立病院は先程、次長が説明したとおり、半年ほど経過を見なければどのような影響が出るのか、まだつかめない状況です。</p> <p>22年度に結論を出すという事については前段述べたとおり、総務省から改革プランの内容について、具体的な方針を示すよう求められた課程において、このような記載になった次第であります。</p>

<p>遠山委員</p> <p>小柏副市長</p> <p>秋本会長</p> <p>秋本会長</p>	<p>1 病棟化する等の経営改善に向けた取り組みを進めた中で、さらに赤字が続く、もしくは赤字が増えていった場合、総務省からは経営形態の見直しを迫られることも想定されますが、21年度では経営改善が図られていることから、もう少し様子を見る必要があるだろうと考えております。</p> <p>そして、第一に地域医療をどうするのかという事が大事で、従前は南茅部地域での自己完結型の地域医療でしたが、全国で広域化や機能分担の動きが広がっている中で、函館病院、恵山病院と連携して、地域医療をどう守るかをきちんとやっていかなければ、さきに財政ありきでの議論ではないと考えております。</p> <p>市長もトータル的に地域医療を守るという考えであり、その基本スタンスは変わりませんので、ご理解いただきたいと思ひます。</p> <p>ある程度、考え方に幅があるという事なので、安心した。</p> <p>いずれにしても、地域住民が病院を残そうという熱い思いが必要であり、今後、準備委員会を設け、どのような方法が良いのか話し合っ、て、病院の経営が改善できるような取り組みを模索したいと思ひう。</p> <p>地域医療で課題となっているのが医者の確保であり、例えば、医者の負担を軽減するため、夜間の診療をなるべく控えて日中に診察を受けるなど、住民の方の理解も必要だと思ひます。</p> <p>他にありませんか？</p> <p>(特になし)</p> <p>特に無いようですので、意見交換を終了します。</p>
<p>(2) 公立高等学校の配置計画案に対する取組状況について</p>	
<p>秋本会長</p> <p>生涯学習部 (小林次長)</p> <p>秋本会長</p> <p>遠山委員</p> <p>生涯学習部 (小林次長)</p> <p>秋本会長</p>	<p>次に、公立高等学校の配置計画案に対する取組状況について、教育委員会より資料説明を受けた後、皆様よりご意見をいただきたいと思ひます。</p> <p>(資料5のとおり説明)</p> <p>どなたかご意見ありませんか？</p> <p>函館中部高校が複数のキャンパス校を持つ事は可能か？</p> <p>道教委では、キャンパス校化の条件として、地元からの進学率が2分の1以上としているところであり、戸井高校については、現時点でその基準を満たしておらず、キャンパス校化は難しいと伺っております。</p> <p>他にありませんか？</p>

	(特になし)
秋本会長	特に無いようですので、意見交換を終了します。
(3) 次回の意見交換テーマについて	
秋本会長	<p>次回の意見交換テーマについてですが、ただいま縄文文化交流センターや新豊崎トンネルの工事が着々と進んでおります。</p> <p>つきましては、次回の地域審議会では、現地視察をしたいと思いますが、いかがでしょうか？</p>
佐藤支所長	<p>補足となりますが、次回の審議会は10月中旬以降の予定で、新豊崎トンネルの掘削は100メートル位進むものと考えております。</p> <p>縄文文化交流センターもある程度イメージできる状態だと思えますし、大船遺跡も堅穴式住居が復元しましたので、この機会に委員の皆様にもご覧いただきたいという提案です。</p>
秋本会長	<p>それでよろしいですか？</p> <p>(賛同の声あり)</p>
秋本会長	それでは、次回は現地視察をすることといたします。
(4) その他	
秋本会長	<p>次に、その他の地域振興全般に関する意見交換を行います。</p> <p>どなたかご意見ありませんか？</p>
加藤委員	縄文文化交流センターの管理運営のあり方について、次回の地域審議会までに示せるのか？
生涯学習部 (岡崎次長)	<p>さきの市議会でも、管理運営のあり方についての質問があり、業務委託を活用した直営方式も含めて検討して参りたいと答弁したところであります。</p> <p>教育委員会としては、国宝を有する博物館ということで、単なる展示施設ではなく、体験学習があったり、縄文文化についての調査研究があったり、質の高い内容の要件が求められ、それと同時に道の駅の機能を有する施設でもあり、地域振興に資するような施設づくりもしていかなければならないといった様々な多様性を有する施設という事を考慮しますと、指定管理者という選択肢もありますが、現在、総務部と協議中でありまして、きちんと決定した段階でご報告したいと思っております。</p> <p>次の地域審議会まで間に合うかどうかについては、現段階では申し上げられません。時期を見ながらご報告できるようにしたいと考えております。</p>
加藤委員	<p>国宝を有する基地ですから、地域振興が図られるよう十分留意していただきたい。</p>

小柏副市長	<p>やはり国宝を有する博物館というだけではなく、地域振興の観点も必要だろうということで、管理費を検討してもらえないかという質問がございまして、それに対し、函館市副市長プロジェクトを設置して検討していきたいと議会でも答弁しております。</p> <p>まずは国宝を安全に展示する施設として、さらに地域振興や観光といった観点も加えて、どのような管理形態が良いのかという事を本庁だけではなく、支所や地域の方々のご意見もいただきながら、望ましい方法について議論し、決定したいと考えております。</p>
秋本会長	他にありませんか？
遠山委員	最近、ホテルひろめ荘の管理に対する評判が悪いが、指定管理者の現状を支所としてどのように把握しているのか？
佐藤支所長	<p>女子の浴場排水から臭いがするという事で、担当課を通じて改善を申し入れております。</p> <p>現在の利用状況は、保養センターが平成21年度で10万7000人の入込があり、ピーク時だった平成9年当時の利用に回復してきております。</p> <p>宿泊は1万4千人とオープン以来最多でありました。</p> <p>個人的に利用する機会もありますが、地元の食材をふんだんに使用しており、少数精鋭で頑張っておりますし、良い評判も伺っております。</p> <p>今後も、そういった苦情があれば、支所の方にご連絡いただければ、都度、改善を申し入れていきたいと考えております。</p>
秋本会長	<p>他にありませんか？</p> <p>(特になし)</p>
秋本会長	<p>無いようですので、これで意見交換を終了します。</p> <p>以上で、本日予定の日程が全て終了しました。</p> <p>これをもって閉会いたします。</p> <p>(午後6時05分、閉会)</p>